

競技上の注意と確認事項

1 競技規則

本大会は、令和4年度（公財）日本ハンドボール協会競技規則によって行う。

2 競技会場

(1) 競技会場・コートのはきは、以下のとおりとする。

【男子】	・熊本市総合体育館	(40m×20m)
	・熊本市城南スポーツセンター	(40m×20m)
【女子】	・ウイングまつばせ	(40m×20m)
	・八代市東陽スポーツセンター	(40m×20m)

(2) 別紙「会場使用上の注意」を遵守して行動する。 ※別紙については後日、通知します。

3 種別及び参加人数

参加人数は、役員3名以内・選手14名以内の合計17名以内とする。

(役員が生徒の場合は、2名までとする。)

4 競技方法

競技方法は、各県1位代表と2位代表によるトーナメント方式とする。

5 参加資格

参加資格は、実施要項4-(1)~(8)のとおりとする。

臨時トレーナーについては、別に定める。※18参照

6 競技日程・時間

(1) 競技日程は、プログラムのとおりとする。

(2) 競技時間は、「前半30分-休憩10分-後半30分」とする。なお、同点の場合は、延長戦を行う。

【トス~第1延長(前半5分-休憩1分-後半5分)~7mTC(5名)】とする。

決勝戦は、第2延長(正規)まで行い、7mTC(5名)とする。

(3) 競技時間の表示は、加算式の電光表示板を使用する。

(4) 競技終了やチームタイムアウトの合図は、ブザー・ホーン、または笛で行う。

(5) ① 退場者の番号と再入場時間は、電光表示板、またはオフィシャル席に用紙で表示する。

② 入場の判断は、チームの責任である。記録席から合図することはなく、問いかけられても回答しない。

7 大会使用球

大会使用球は、(公財)日本ハンドボール協会検定球を使用する。

○ 男子・・・第1日：ミカサ 第2日：モルテン

○ 女子・・・第1日：モルテン 第2日：ミカサ

8 トス・ユニホーム

(1) トスは、ユニホーム確認の際に記録席前で行う。立ち合いは、チーム役員・選手のいずれでもよい。その際、チーム役員の服装(色)及び臨時トレーナーの有無についても確認する。※11(5)、18(1)

- (2) ユニホームの確認は、第1試合は試合開始30分前とし、第2試合以降は、前試合の前半終了直後、記録席前で行う。その際、試合に着用する全ての種類のユニホームを持参する。調整がつかない場合は、チーム番号の大きいチームが変更する。
- (3) ユニホームについては、下記のとおりとする。条件に満たない場合は当て布等で覆わなければならない。その色はユニホームと同色でなくてもよいが、チーム全員が同色とし、同じデザインにする。
- ① チームは、ユニホームとして、「シャツ・ショートパンツ（またはゴールキーパーのズボン）・ソックス」の色をそれぞれ統一すること。ソックスは、色が揃っていればよく、メーカーのロゴなどは問わない。
 - ② 番号の大きさ（高さ）は、胸10cm以上・背20cm以上とする。
 - ③ 基調色として、半分以上が同色でなければならない。例えば、左右上下対称色を用いたものは認めない。
 - ④ メーカーのロゴは、20cm²以内の目立たないものとする。サポーター等も同様とする。
 - ⑤ 背中に氏名等の文字表記をする場合は、大きさ（高さ）10cm以内とする。
 - ⑥ 試合中にユニホームが破損したり、血液が付着したりして競技を続行できない場合は、別のユニホームに着替えなければならない。その際は、異なる番号でも問題ない。また、交代地域にいる別のプレイヤー（番号）のユニホームと交換することも許される。ただし、交換の際は、得点や罰則などの公式記録に誤記がないよう変更番号をTDに伝える。
- (4) ゴールキーパー
- ① チームで同色とする。
 - ② コートプレイヤーがゴールキーパーに代わる場合は、登録された同じ番号でなければならない。併せて、登録されたゴールキーパーと同色のユニホームを着用することは許される。
 - ③ 一時的なゴールキーパーは、コートプレイヤーとして通常持っている番号のゴールキーパーシャツを着用するか、チームのゴールキーパーシャツと同じで透明な素材で覆われた穴があり、背番号と胸番号が見えるようにする。
- (5) 身につけられるものについて
- ① 短パンツの下に着用するサイクリングパンツやウォームパンツ（アンダーウェア）は、短パンツの基調色か同色とし、チームで統一していれば着用できる。
 - ② ユニホームの外にアンダーウェアが出る場合があっても、立っている状態で見えなければ正さなくてよい。
 - ③ 長袖のアンダーシャツ・アーム（ロング）スリーブ等は、ユニホームに使用されている基調色と同色であれば着用できる。
 - ④ ふくらはぎのコンプレッション（加圧）サポーターは、靴下と同色であれば着用できる。
 - ⑤ 複数の部位を覆うサポーター等やメーカーのロゴが20cm²以上ものは、着用を認められない。
 - ⑥ 金具入り等、敵味方を問わず他の選手に危害を与えるものについては、その着用を認めない。
 - ⑦ 眼鏡及びスポーツゴーグル等を使用する際には、固定バンドの装着を必要とする。ただし、金属製のフレーム等については使用できない。
 - ⑧ 詳細は、「JHA保護を目的とした装具」を参照すること。
- (6) 眼鏡・スポーツゴーグル
- 眼鏡及びスポーツゴーグルを使用する際は、固定バンドの装着を必要とする。ただし、金属製のフレーム等については使用できない。

9 登録証・公認資格証とチーム役員・選手の確認

- (1) 代表者会議で決定し、登録証のあるチーム役員・選手のみが競技に参加・出場することができる。
- (2) 交代地域には、チーム責任者（監督）1名を含むチーム役員3名以内、選手14名以内の合計17名以内が入ることができる。
- (3) チーム役員・選手の変更については、代表者会議で確認・決定する。
- (4) ① トスの際には、TDに登録証を提出する。提出不可、または不備（写真添付なし等）があった場合は、試合に出場・参加することはできない。

- ② TDが試合前に交代地域にて、チーム役員・選手及び登録証を確認する。試合中は、TDが登録証を管理し、試合終了後にTDから両チーム代表者に返却される。
 - ③ 失格したチーム役員・選手、または、裁定委員会に提訴されるチーム役員・選手には、その場で返却しない。
- (5) チーム役員は、試合中に大会主催者が準備した「A・B・Cカード」を着用し、試合終了後に返却する。チーム責任者は、「Aカード」を着用する。

10 公式記録用紙

- (1) 記録用紙は、公式記録用紙のみを使用する。
- (2) チーム責任者は、試合開始前に公式記録用紙に記載されている「役員氏名・カード、選手氏名・背番号」について責任を持って確認し、サインをする。
- (3) 公式記録用紙に記入されている者だけが、交代地域に入ることができる。

11 交代地域 ☆交代地域：「3.5mラインを始点とし、センターラインから12mの範囲まで」

- (1) 各チームのボール等の用具類は、競技開始前にケース等に収納して交代地域内にて管理する。競技開始後は、ボールに触れることを含めて、ボールの使用を禁止する。
- (2) 飲料水は、飲み口の細い容器を使用する。感染予防の観点から、回し飲みはせず、個人の容器を用意する。
- (3) 交代地域での通信機器の使用を認める。詳細は、JHAホームページ「交代地域に持ち込み可能な技術的機器に関するガイドライン」を参照する。
- (4) 試合中、選手が交代地域内で簡単な準備運動をすることを認める。ただし、ボールの使用やコート内への指示・応援、立位のままで観戦することは不可とする。
- (5) チーム役員は、相手チームのコートプレーヤーと異色の服装でなければならない。トスの際にユニホームの色が確定した後に、役員の色を確認する。
- (6) チーム役員は、原則として座っていなければならない。ただし、チーム役員1名のみが、戦術的な指示や治療を目的として、交代地域の範囲内で動くことは許される。
- (7) 交代地域からは、選手への指示を行い、審判員のジャッジに対する暴言等は厳禁とする。

12 チームタイムアウト

- (1) チームタイムアウトは、1試合で3回請求することができ、前後半にそれぞれ最高で2回まで請求することができる。また、試合の後半残り5分間は1回しか請求できず、延長戦は請求できない。
- (2) チームタイムアウト請求カード(グリーンカード)は、チーム役員だけが提出することができる。請求する場合は、記録席まで持参する。提出するために、コーチングエリア(3.5m)を越えたらグリーンカードを提出しなければならない。躊躇することは許されない。ただし、請求および受け取りと判定のタイミングにより、チームタイムアウトにならない場合があるので、その際は、グリーンカードをチームに戻す。
- (3) グリーンカードは、常にベンチに置いておかなければならない。請求する時のみ、持つことが許される。
- (4) グリーンカードは、TDが直接受け取ってよい。

13 休憩時間(ハーフタイム)のコートの使用

休憩時間のコート使用は、次の試合のチーム練習に使用する。ただし、コートの使用時間は、「9分」とし、後半開始までの残りの1分間は、コート整備等の時間とする。

14 マッチオフィシャル(MO)・テクニカルデレゲート(TD)、裁定委員会

- (1) 本大会は、各試合にMO1名とTD2名の計3名を配置する。ただし、競技第1日は、TD2名のみの配置とする。MO及びTDは、競技委員長のもとで競技役員として各試合に立ち会い、各試合を円滑に運営するため審判員・全競技役員・補助員と協力して試合を管理する責任者である。
- (2) 本大会に裁定委員会を設置する。委員は、競技委員長・競技副委員長・審判長とする。なお、必要に応じ

て関係者を同席させることがある。裁定しなければならない事案が生じた場合は、当日中に裁定して関係者に通知する。

15 次の試合のチーム役員・選手フロアへの入場

次の試合のチーム役員・選手は、前半が終了するまで、または試合終了後に両チームの挨拶が終了するまでは、フロアへの入場を禁止する。競技中に次試合の役員・選手が、フロアで練習をしたり、試合を観戦したりすることがあってはならない。

16 試合の開始と終了

開始時は、選手全員が交代地域から横1列で入場して、あいさつをする。終了時は、コート中央に横1列で並んであいさつをした後は、相手チームとのタッチ・握手は行わず、速やかにコートから退場する。

17 表彰

競技2日目の「熊本市総合体育館」(男子)及び「ウイングまつばせ」(女子)の各会場で、準決勝終了後に3位表彰を行う。また、男女の決勝戦終了後に、各会場で優勝及び準優勝の表彰を行う。

18 臨時トレーナー

- (1) 臨時トレーナーとは、役員登録をしていない公的資格を有するトレーナーを指す。トスの際には、必ずTDに申告する。席は、交代地域から離れた場所に設置する。
- (2) 臨時トレーナーは、交代地域やコート内に立ち入ることや応援・指示はできず、自席での対応のみとする。選手は、一時的に交代地域から許可なく離れ、臨時トレーナー席で治療等を受けることができる。
- (3) TDが、試合開始前にトレーナーである資格証の提示を求める場合があるので準備しておく。

19 感染症対策及び危機管理

- (1) 本大会は、別添の「新型コロナウイルス感染症対策についてのガイドライン」に則り、大会運営及び感染症対策を行う。大会参加者はガイドラインに従い、大会参加前から十分に感染対策を行い、大会期間中においても試合中・練習中はもとより、生活全般で体調管理に留意する。また、体調不良や感染の疑い、または感染症の診断が出た際には、必ず大会本部に連絡する。
- (2) 各チーム・各個人で危機管理意識を高く持ち、各種の緊急事態に備える。

20 申込チームの欠場(辞退)の場合

- (1) 欠場(辞退)による県代表の繰り上げ出場は行わない。
- (2) 欠場(辞退)チームの大会参加記録は、「参加」として記録し、連続出場の記録は継続する。
- (3) 試合記録は、欠場(辞退)のチームの不戦敗とし、スコアは0-10とする。
- (4) 競技日程・試合開始時刻などは、原則として変更しない。

21 入場規制・制限等

- (1) 会場への入場を認める者は以下の通りとする(提出書類等はガイドライン参照)
 - ① 大会参加校の登録役員3名・登録選手14名以内及びその他の部員
 - ② 大会参加校の部員の保護者及び家族、学校関係者(70名以内)
 - ③ 専門部から入場を許可された大会役員や補助員、審判員
 - ④ 専門部から入場を許可された大会関係者(協会及び大学関係者含む)や来賓、報道関係者※ ①~④以外の者の入場は認めない
- (2) 本大会は、以下の通り、試合毎にチーム及び観戦者の入れ替えを行う
 - ① チーム役員・選手の入場時間は「試合開始2時間前」、退場時間は「試合終了40分後」とする。ただし、第1試合の入館は8時30分(試合開始1時間前)とする。

- ② チーム役員及び部員はまとまって入場し、試合（表彰）終了後は更衣を済ませ速やかに退場する。自チーム以外の試合観戦や撮影等の為の入場は認めない。ただし、2日間ともに1試合目に勝利した（準々決勝及び決勝進出）チームについては、指定の控え場所（スタンド）での待機を認める。
- ③ 登録選手及び役員以外の部員は、指定された自チームの待機場所で観戦し、コートには立ち入らない。
- ④ 各チームの観戦（応援）者の入場時間は、各試合開始20分前（但し、前試合の観戦者退場後）とする。各チームでまとまって入場し、試合終了後はスタンドを消毒・清掃の上、速やかに退場する。

22 その他

- (1) 全ての会場で両面テープの使用を認める。ただし、松ヤニ・松ヤニスプレーは使用禁止とする。
- (2) 会場にはゴミ箱を設置しないので、各自（チーム）でゴミを持ち帰ること。弁当殻等を放置して退場しないこと。
- (3) 二足制を厳守すること。体育館シューズと屋外シューズを区別し、内外兼用は禁止する。観戦者は会場に応じて、靴袋や上履きを準備しておく。
- (4) 感染対策の為、応援は拍手のみで行い、鳴り物の使用や、選手への声援、大声での会話等を行わないようチームの指導を徹底する。また、スポーツマンシップに則った大会になるよう、観客席からの選手への指示や競技役員への暴言等が絶対にならないよう観客席（応援）の態度にも気を配る。
- (5) 駐車場について
 - ① チームの駐車場の利用時間は、各試合前の2時間30分前から試合終了後1時間までとする。
 - ② 他チームの駐車場確保のため、上記以外の時間帯の駐車はしない。試合終了後は、速やかに移動する。
 - ③ 近隣の商業施設等への無断駐車や路上駐車は迷惑になるので、絶対にしないこと。